

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	白根健生病院	
建設地	南区 上下諏訪木字諭地925番2外	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22条地域	
建物用途	病院	
竣工年	2015年12月 竣工	
敷地面積	6,591.52 m ²	
建築面積	3,839.05 m ²	
延床面積	11,675.63 m ²	
階数	地上6F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2014年9月1日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{50.1}{46.2} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿化への取組み → 維持管理について標準的な設計をしています。
- 地震への取組み → 建築基準法に定められた耐震性を有しています。
- 大雨への取組み → 雨水貯留設備を設けています。
- 自然エネルギー利用の取組み → 室内への熱侵入に対して十分な断熱性能を有しています。
- 資源環境への取組み → 再生砕石や集成材などのリサイクル材を利用しています。
- 水と緑を活かす取組み → 道路沿いは高木や花壇で緑化しています。
- 新潟のまちなみへの取組み → 建物の色彩などはまちなみに配慮しています。

CASBEE[®]新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版(BEI対応)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	白根健生病院	階数	地上6F
建設地	新潟県新潟市南区	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22条地域	平均居住人員	370 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 竣工	評価の実施日	2014年9月1日
敷地面積	6,592 m ²	作成者	勝沼幸男
建築面積	3,839 m ²	確認日	2015年9月24日
延床面積	11,676 m ²	確認者	勝沼幸男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 第一種中高層住居専用地域に計画した建物です。周辺建物との景観に配慮するとともに、道路沿いに花壇や中木を列植し、住宅街の風景とのまちなみにも配慮した。		その他 建設現場にリサイクルステーションを設け、廃棄物の分別をし、削減に取り組んだ。また、建設残土の搬出を削減するよう、場内において再利用を図った。
Q1 室内環境 シックハウス等の原因となる化学汚染物質の発生を低減するよう、使用材料に配慮するとともに、換気量も十分に確保する設計とした。	Q2 サービス性能 仕上げ材は耐久性、防汚性、清掃面を考慮し、それぞれの室に適した仕上げを選択することで、作業環境の維持を図る計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の色彩は周辺景観に配慮したものとした。道路沿いには花壇や中木を配置して景観に配慮した。
LR1 エネルギー 建物の断熱性能の向上を図り、照明についてはLED照明を採用し省エネルギーに配慮する計画とした。	LR2 資源・マテリアル 再生路盤材、エコマークを取得した衛生器具を計画した。	LR3 敷地外環境 周辺道路への関係車両の滞留が起きないように、敷地内に十分な車両スペースを計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される